

令和2年

災害の記録

鹿児島県

はじめに

令和2年中の災害では、死者2人・負傷者20人の人的被害があり、災害による被害総額は、約336億円となりました。

主なものとしましては、7月の豪雨災害により、1名の方が亡くなられたほか、住家被害をはじめ、道路、河川、農地や用排水路及び農作物や農業施設など多大な被害が生じました。

また、台風10号により、1名の方が亡くなられたほか、大雨や暴風による停電、断水や、住宅の全壊など住家被害、公共土木施設や農作物などの被害が生じました。

自然災害による被害を受けやすい本県においては、防災対策を県政の重要課題のひとつとして平成20年4月に施行した「県防災対策基本条例」に基づき、県民が自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がお互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、市町村、県及び防災関係機関が行う「公助」を基本として、各主体がそれぞれの役割と責任のもとに連携・共同して防災対策を着実にを行うこととし、各般にわたる様々な施策の積極的な推進に取り組んでいるところです。

今後とも県民の生命、財産を守るため、市町村や防災関係機関等と緊密な連携を図りながら災害の未然防止に万全を期して参りたいと考えています。

ここに、令和2年中に県内で発生した災害を収録しましたので、今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

最後に本誌の編集に当たり、御協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和4年3月

鹿児島県危機管理防災局

災害対策課長 堂園 和吉

目 次

第 1	災害の概況	・・・・・・・・	1
第 2	被害総括表	・・・・・・・・	2
第 3	降雨・台風災害等		
1	1月27日の大雨	・・・・・・・・	7
2	1月27日の強風	・・・・・・・・	10
3	1月30日の雹害	・・・・・・・・	13
4	2月17日～18日の雹害・強風	・・・・・・・・	16
5	3月28日の突風	・・・・・・・・	23
6	4月12日の暴風	・・・・・・・・	26
7	4月25日の霜害	・・・・・・・・	29
8	5月15日～16日の大雨	・・・・・・・・	33
9	5月18日の大雨	・・・・・・・・	39
10	5月23日の地震	・・・・・・・・	43
11	6月1日の地震	・・・・・・・・	44
12	6月3日の大雨	・・・・・・・・	45
13	6月4日～6日の大雨	・・・・・・・・	48
14	6月11日の大雨	・・・・・・・・	55
15	6月12日～13日の大雨	・・・・・・・・	59
16	6月13日～14日の大雨	・・・・・・・・	65
17	6月17日の大雨	・・・・・・・・	70
18	6月22日の大雨	・・・・・・・・	73
19	6月27日～28日の大雨	・・・・・・・・	76
20	6月29日～30日の大雨	・・・・・・・・	83
21	6月30日の強風	・・・・・・・・	90
22	6月30日～7月1日の大雨	・・・・・・・・	95
23	7月1日の大雨	・・・・・・・・	101
24	7月2日の大雨	・・・・・・・・	105
25	7月3日～12日の大雨	・・・・・・・・	108
26	7月24日～25日の大雨	・・・・・・・・	128
27	8月24日～25日の台風第8号	・・・・・・・・	135
28	8月27日の大雨	・・・・・・・・	144
29	8月27日～28日の大雨	・・・・・・・・	149
30	9月1日～2日の台風第9号	・・・・・・・・	155
31	9月5日～8日の台風第10号	・・・・・・・・	165
32	9月11日の大雨	・・・・・・・・	183
33	9月11日～12日の大雨	・・・・・・・・	188

34	9月17日の大雨	194
35	9月24日～25日の大雨	198
36	10月8日～9日の台風第14号	202
37	10月22日～23日の大雨	212
38	12月30日の暴風	216

第4 火山の活動状況及び被害状況

1	桜島	220
2	霧島山（新燃岳，御鉢，えびの高原（硫黄山））	226
3	薩摩硫黄島	238
4	口永良部島	240
5	諏訪之瀬島	245

第5 参考資料

1	令和2年災害気象名別被害額一覧表	252
2	令和2年災害年報	254
3	令和2年局地激甚災害指定	258
4	令和2年気象警報等発令状況	260
5	令和2年地震発生状況	311
6	令和2年火山情報発表状況	312
7	令和2年避難勧告等発令状況	314
8	令和2年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	317
9	令和2年火災発生状況	319
10	令和2年出火原因別火災件数	320
11	鹿児島県におけるプロパンガス事故の発生状況	321
12	噴火警戒レベルとは	323
13	特別警報について	324

令和2年の鹿児島県内の天気の特徴

令和2年は、高温傾向の月が多かったが、4月、7月、9月、12月は低温傾向となり気温の変動が大きかった。梅雨期は降水量が平年より多かった。台風の接近数は九州南部4個（平年3.9個）、奄美地方4個（平年4.3個）であった。

1月は、気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。薩摩・大隅、種子島・屋久島地方は上旬に高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、8日、12日、26日から28日は大雨や荒れた天気となった所があり、奄美地方でも8日と30日は荒れた天気の所があった。月平均気温は、18地点で高い方からの1月の極値を更新するなど平年よりかなり高く、鹿児島市11.1度（平年比+2.6、以下カッコ内は平年比）、西之表市13.8度（+2.3）、奄美市16.5度（+1.7）であった。月降水量は、鹿児島市86.5ミリ（112%）、西之表市161.0ミリ（180%）、奄美市137.5ミリ（69%）となり、中種子で253.5ミリと1月の極値を更新するなど、種子島・屋久島地方で平年よりかなり多くなった。月間の日照時間は、鹿児島市125.4時間（94%）、西之表市116.3時間（113%）、奄美市75.8時間（126%）だった。

2月は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、中旬を中心に低気圧や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。7日は低気圧の影響で奄美地方では荒れた天気となり、16日から18日は低気圧の通過や、その後に冬型の気圧配置が強まった影響で荒れた天気となった所があった。17日に桜島の初冠雪（平年より64日遅い、昨年は現象なし）を観測し、18日に鹿児島で初雪（平年より47日遅い、昨年は現象なし）を観測した。また、24日には枕崎で日最小湿度11%を観測し2月の極値を更新した。月平均気温は、鹿児島市11.4度（+1.6）、西之表市13.8度（+1.8）、奄美市16.3度（+1.1）だった。月降水量は、鹿児島市160.5ミリ（143%）、西之表市150.0ミリ（133%）、奄美市114.5ミリ（71%）だった。月間の日照時間は、鹿児島市159.6時間（118%）、西之表市140.1時間（124%）、奄美市88.2時間（151%）となり、奄美地方でかなり多くなった。

3月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、天気は数日の周期で変わり、9日から10日、14日から15日は低気圧や前線などの影響で大雨や荒れた天気となった所があった。また、日最大風速を10日に輝北（北西10.4m/s）で観測、日最大瞬間風速を10日に輝北（西北西20.2m/s）、16日に中種子（西北西27.3m/s）で観測し、それぞれ3月の極値を更新した。奄美地方では、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、22日と28日は前線や湿った空気の影響を受け荒れた天気となった所があった。また、1日に天城で80.5ミリの日降水量を観測し、3月の極値を更新した。月平均気温は平年よりかなり高く、鹿児島市14.0度（+1.5）、西之表15.4度（+1.0）、奄美市17.8度（+0.7）だった。月降水量は、鹿児島市138.0ミリ（77%）、西之表市139.5ミリ（80%）、奄美市233.5ミリ（100%）

だった。月間の日照時間は、鹿児島市 163.6 時間 (110%)、西之表市 136.2 時間 (107%)、奄美市 97.3 時間 (118%) だった。

4 月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、高気圧に覆われて晴れた日が多く、下旬の降水量は中甑と上中で 1.0 ミリを観測したほかは、0.0 ミリであった。1 日と 12 日から 13 日、19 日から 20 日は低気圧や前線の影響で荒れた天気となった所があった。奄美地方では、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、12 日から 13 日は荒れた天気となった所があった。月平均気温は平年よりかなり低く、鹿児島市 15.7 度 (-1.2)、西之表市 16.5 度 (-1.3)、奄美市 17.8 度 (-2.0) だった。月降水量は平年よりかなり少ない所が多く、鹿児島市 110.5 ミリ (54%)、西之表市 56.0 ミリ (27%)、奄美市 125.0 ミリ (55%) だった。月間の日照時間は平年よりかなり多く、鹿児島市 233.3 時間 (139%)、西之表市 203.3 時間 (135%)、奄美市 126.6 時間 (118%) だった。鹿児島市では 1 日にソメイヨシノが開花 (平年より 6 日遅い)、19 日に満開 (平年より 15 日遅い) となった。

5 月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では天気は数日の周期で変わり、15 日から 18 日は、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大雨となった所があった。奄美地方では、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、3 日は前線の影響で日降水量 100 ミリ以上を観測した所があり、17 日にも大雨となった所があった。奄美地方では 17 日ごろ (平年より 6 日遅く、昨年より 3 日遅い)、九州南部では 30 日ごろ (平年より 1 日早く、昨年より 1 日早い) 梅雨入りしたと見られる。月平均気温は、鹿児島市 21.7 度 (+0.9)、西之表市 21.5 度 (+0.6)、奄美市 23.2 度 (+0.5) となり、薩摩・大隅地方で平年よりかなり高くなった。月降水量は、鹿児島市 268.5 ミリ (121%)、西之表市 145.0 ミリ (63%)、奄美市 234.0 ミリ (91%) だった。月間の日照時間は、鹿児島市 177.5 時間 (102%)、西之表市 163.4 時間 (107%)、奄美市 119.8 時間 (95%) だった。なお、阿久根では 7 日に 15% の日最小相対湿度を観測し、5 月の極値を更新した。

6 月は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、3 日から 4 日、6 日から 7 日、11 日、12 日、15 日、17 日、21 日、22 日、27 日、28 日、30 日は大雨や荒れた天気となった所があった。中之島では 3 日に 99.0 ミリの日最大 1 時間降水量を観測し 6 月の極値を更新したほか、日降水量 390.0 ミリを 4 日に観測、月間降水量 1322.5 ミリを観測し、それぞれ年間の極値を更新した。また、上中でも 948.5 ミリの月間降水量を観測し、年間の極値を更新した。月平均気温は、鹿児島市 25.0 度 (+1.0)、西之表市 24.8 度 (+0.8)、奄美市 27.1 度 (+1.1) となり、薩摩・大隅地方や奄美地方で平年よりかなり高くなった。月降水量は、鹿児島市 795.5 ミリ (176%)、西之表市 615.5 ミリ (135%)、奄美市 544.5 ミリ (133%) となり薩摩・大隅地方で平年よりかなり多くなった。月間の日照時間は、鹿児島市 116.5 時間 (96%)、西之表市 110.0 時間 (76%)、

奄美市 100.0 時間 (82%) だった。

7 月は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、上旬だけで鹿屋と吉ヶ別府で降水量が 1000 ミリを超えたほか、7 月の月間降水量平年値の 3 倍以上を観測した地点があり、複数の地点で降水量の年間や 7 月の極値を更新するなど記録的な大雨となった。また、11 日、16 日、24 日から 26 日にも大雨の所があった。なお、16 日に枕崎で 22.2 度の最高気温を観測、17 日に天城で 21.9 度の最低気温を観測し、日最高気温、日最低気温のそれぞれ低い方からの 7 月の極値を更新した。奄美地方では 20 日ごろ (平年より 21 日遅く、昨年より 7 日遅い)、九州南部では 28 日ごろ (平年より 14 日遅く、昨年より 4 日遅い) 梅雨明けしたと見られる。月平均気温は、鹿児島市 26.8 度 (-1.3)、西之表市 26.8 度 (-0.6)、奄美市 28.4 度 (-0.3) となり、薩摩・大隅地方で平年よりかなり低くなった。月降水量は、鹿児島市 713.0 ミリ (224%)、西之表市 697.0 ミリ (320%)、奄美市 328.0 ミリ (162%) となり、薩摩・大隅地方や種子島・屋久島地方で平年よりかなり多くなった。月間の日照時間は平年よりかなり少なく、鹿児島市 123.8 時間 (65%)、西之表市 149.4 時間 (65%)、奄美市 150.2 時間 (72%) だった。

8 月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、9 日から 10 日は台風第 5 号や湿った空気の影響で、23 日から 27 日、31 日は台風第 8 号や台風第 9 号の影響で大雨や荒れた天気となった所があった。なお、16 日から 18 日にかけては晴れて気温が上がり、強い日射などの影響により、日最高気温の高い方からの年間の極値を多数の地点で更新した。月平均気温は、鹿児島市 29.8 度 (+1.3)、西之表市 28.7 度 (+0.8)、奄美市 28.9 度 (+0.5) となり、薩摩・大隅地方や種子島・屋久島地方で平年よりかなり高くなった。月降水量は、鹿児島市 167.0 ミリ (75%)、西之表市 118.0 ミリ (59%)、奄美市 286.0 ミリ (107%) だった。月間の日照時間は、鹿児島市 265.4 時間 (129%)、西之表市 276.5 時間 (126%)、奄美市 202.0 時間 (114%) となり、薩摩・大隅地方や種子島・屋久島地方で平年よりかなり多くなった。

9 月は、台風や低気圧、また前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。1 日から 2 日は台風第 9 号、5 日から 7 日は台風第 10 号の接近により、9 日から 11 日、24 日、30 日は低気圧や前線、湿った空気の影響で大雨や荒れた天気、大荒れとなった所があり、枕崎では 12 日 00 時 08 分までに 124.5 ミリの 1 時間降水量を観測し、9 月の極値を更新した。また、6 日は「日最大風速」、「日最大瞬間風速」の年間や月間の極値を更新した所があったほか、30 日には喜界島で 26.1 度の日最高気温を観測し、「日最高気温の低い方から」の 9 月の極値を更新した。月平均気温は、鹿児島市 25.6 度 (-0.5)、西之表市 25.3 度 (-0.7)、奄美市 26.5 度 (-0.3) だった。月降水量は、鹿児島市 337.5 ミリ (160%)、西之表市 445.5 ミリ (163%)、奄美市 484.0 ミリ (160%) だった。月間の日照時間は平年よりかなり少な

く、鹿児島市 115.6 時間 (65%)、西之表市 110.3 時間 (67%)、奄美市 78.8 時間 (55%) だった。

10 月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、7 日から 8 日と 22 日から 23 日は台風第 14 号や低気圧、前線の影響で大雨や荒れた天気となった所があった。また、17 日には気圧の谷に伴う寒気の影響で、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方ではすべての地点で最高気温がかなり低くなったほか、25 日には内之浦で 5.6 度の日最低気温を観測し、日最低気温の低い方からの 10 月の極値を更新した。月平均気温は、鹿児島市 21.4 度 (+0.2)、西之表市 21.8 度 (-0.1)、奄美市 23.6 度 (-0.1) だった。月降水量は、鹿児島市 75.5 ミリ (74%)、西之表市 67.0 ミリ (40%)、奄美市 233.0 ミリ (99%) と平年並みか平年より少なく、伊仙では 29.5 ミリと 10 月の月降水量の少ない方からの極値を更新した。月間の日照時間は、鹿児島市 219.4 時間 (118%)、西之表市 175.5 時間 (112%)、奄美市 118.7 時間 (105%) だった。

11 月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。一方、奄美地方では、天気は数日の周期で変わった。15 日から 20 日にかけては、鹿児島県内の多くの地点で日最高気温が 25 度以上となったが、30 日には冬型の気圧配置となり寒気が流れ込んだため、ほとんどの地点で最高気温が低く、かなり低い地点があった。また、28 日に志布志で西の風 12.4m/s の日最大瞬間風速を観測し、11 月の極値を更新した。月平均気温は平年よりかなり高い所があり、鹿児島市 17.2 度 (+1.3)、西之表市 19.1 度 (+1.2)、奄美市 21.4 度 (+1.2) だった。月降水量は、鹿児島市 96.0 ミリ (104%)、西之表市 55.5 ミリ (42%)、奄美市 71.5 ミリ (40%) だった。月間の日照時間は、鹿児島市 170.9 時間 (110%)、西之表市 167.3 時間 (126%)、奄美市 89.3 時間 (103%) と種子島・屋久島地方で平年よりかなり多かった。

12 月は、薩摩・大隅地方、種子島・屋久島地方では、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、強い寒気の影響を受けた日もあり、鹿児島では 18 日に初霜と初氷を観測した。30 日から 31 日は強い冬型の気圧配置となり、荒れた天気となった所があった。鹿児島では 30 日に初雪 (平年より 3 日早く、昨年より 50 日早い)、31 日には桜島の初冠雪 (平年より 16 日遅く、昨年より 48 日早い) をそれぞれ観測した。奄美地方では、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。月平均気温は平年よりかなり高い所があり、鹿児島市 10.3 度 (-0.3)、西之表市 13.4 度 (-0.3)、奄美市 16.6 度 (+0.1) だった。月降水量は、鹿児島市 29.0 ミリ (41%)、西之表市 38.0 ミリ (46%)、奄美市 247.5 ミリ (158%) と奄美地方で平年よりかなり多かった。月間の日照時間は、鹿児島市 170.4 時間 (114%)、西之表市 126.4 時間 (114%)、奄美市 28.8 時間 (39%) と奄美地方で平年よりかなり少なかった。

1年間の平均気温は、鹿児島 19.2 度 (+0.6)、阿久根 17.8 度 (+0.6)、枕崎 18.6 度 (+0.5)、屋久島 19.9 度 (+0.5)、種子島 20.1 度 (+0.5)、奄美市名瀬 22.0 度 (+0.4)、沖永良部 22.9 度 (+0.5) だった。年間降水量は、鹿児島 2977.5 ミリ (131%)、阿久根 3109.5 ミリ (151%)、枕崎 3061.0 ミリ (141%)、屋久島 4837.5 ミリ (108%)、種子島 2688.0 ミリ (115%)、奄美市名瀬 3039.0 ミリ (107%)、沖永良部 1933.0 ミリ (105%) だった。年間の日照時間は、鹿児島 2977.5 時間 (131%)、阿久根 3109.5 時間 (151%)、枕崎 3061.0 時間 (141%)、屋久島 1477.3 時間 (97%)、種子島 1874.7 時間 (104%)、奄美市名瀬 1275.5 時間 (94%)、沖永良部 1761.2 時間 (94%) だった。

第1 災害の概況

令和2年中の災害では、死者・負傷者22人の人的被害があり、災害による被害総額は、約336億円で、そのうち、7月豪雨による被害額が約225億円で全体の約67%、台風第10号による被害額が約61億円で全体の約18%となった。

- 降雨災害
梅雨期間の雨により、人的被害（死亡）、床上・床下浸水などの住家被害が発生した。
- 台風災害
令和2年年中に本県に被害をもたらした台風は4個あり、被害総額は約66億円であった。
- その他の被害
強風、地すべり等により、農産被害や公共土木施設の被害が発生した。
- 火山災害
桜島の降灰により、野菜等の農作物に被害が発生した。（被害額未確定）

◆ 災害種別被害額

令和2年被害総額 33,568,220千円

種 類	被害額（千円）
降 雨 災 害	26,617,790
台 風 災 害	6,620,501
そ の 他 災 害	329,929
合 計	33,568,220

◆ 令和2年の梅雨時期

鹿児島地方 } 5月30日ごろ～7月28日ごろ
種子島・屋久島地方 } (5月31日ごろ～7月24日ごろ)

奄美地方 } 5月17日ごろ～7月20日ごろ
(5月14日ごろ～7月13日ごろ)

※（ ）内は、平成31年・令和元年の梅雨時期

第2 被害総括表

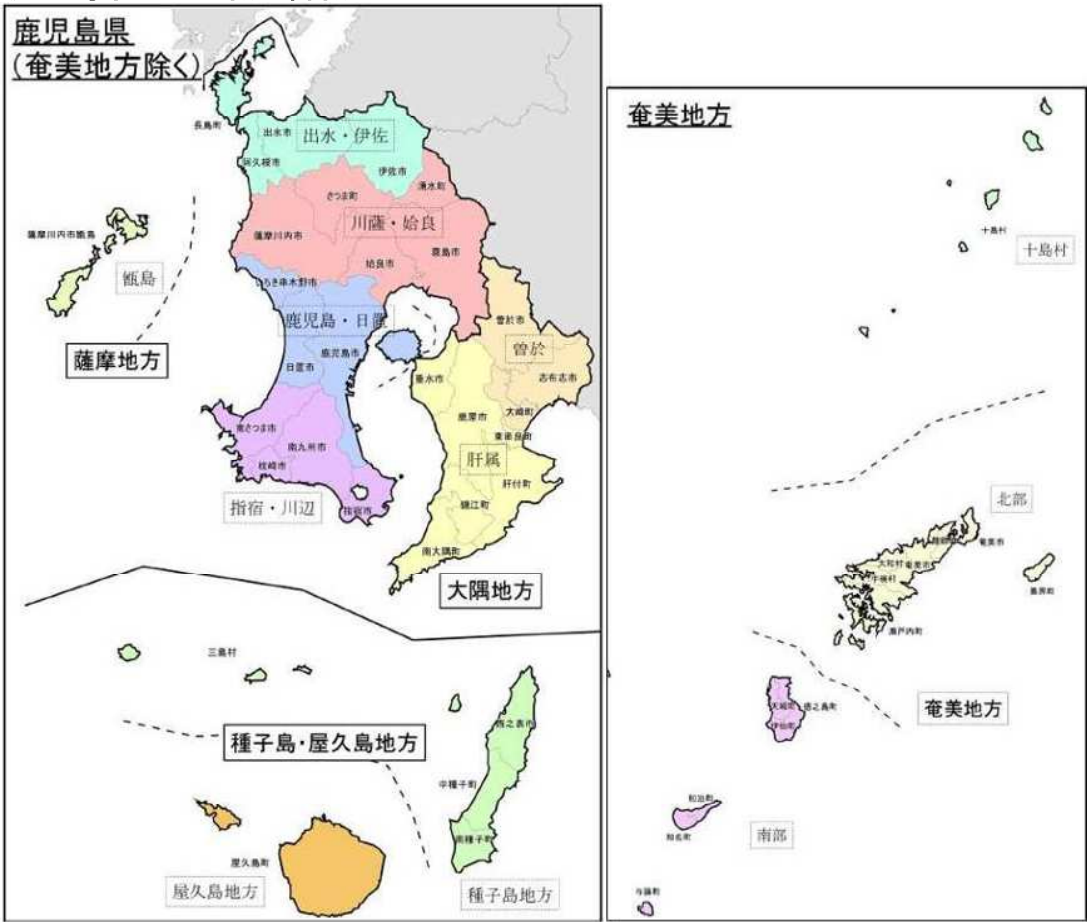
区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分	被害数	単位	被害額(千円)			
人的被害	死 者	2	人		衛生福祉関係の被害	病院・診療所等	19	棟	—		
	行方不明		人			水道施設	330	箇所	—		
	重 傷 者	4	人			清掃施設		〃			
	軽 傷 者	16	人			福祉施設	66	〃	—		
	合 計	22	人			そ の 他		〃			
	合 計	415									
住家被害	全壊	棟 数	26	棟	農作物の被害	水 陸 稲	307	ha	122,211		
		世 帯 数	26	世帯		麦 類		〃			
	半壊	人 員	56	人		雑穀いも豆類	2,330	〃	84,340		
		棟 数	55	棟		野 菜	1,335	〃	480,033		
	一部破壊	世 帯 数	52	世帯		果 樹	485	〃	70,600		
		人 員	86	人		工 芸 作 物	14,768	〃	631,038		
	床上浸水	棟 数	1,314	棟		飼料用作物	68	〃	8,008		
		世 帯 数	1,264	世帯		花 き	46	〃	19,300		
	床上浸水	人 員	1,888	人		桑		〃			
		棟 数		棟		茶	76	〃	2,315		
	床上浸水	世 帯 数		世帯		そ の 他	10	〃	28,065		
		人 員		人		合 計	19,424	〃	1,445,910		
	害	床上浸水	棟 数			棟	耕地関係	農 田	946	箇所	1,919,500
			世 帯 数			世帯			(流出埋没)	277	ha
合 計		棟 数	1,395	棟	農 畑	565		箇所	991,000		
		世 帯 数	1,342	世帯		(流出埋没)		94	ha		
計	人 員	2,030	人	た め 池	9	箇所	16,200				
				農 頭 首 工	86	〃	886,400				
非住家被害	公共建物	棟 数 全 壊 半 壊		棟	係業用の施設被害	水 路	796	〃	2,014,250		
						道 路	684	〃	2,295,650		
						橋りょう	2	〃	80,000		
						堤 とう		〃			
						揚 水 機		〃			
	そ の 他		〃								
そ の 他	棟 数 全 壊 半 壊			棟	そ の 他		〃				
					合 計	3,088	〃	8,203,000			
					家畜等の被害	101,858	件	86,453			

区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分		被害数	単位	被害額(千円)	
農 業 生 産 用 資 材 施 設	耕種関係	256	棟	31,431	土 庫 木 負 関 担 係 対 象 の 被 害	国 交 省 港 湾	県工事	11	箇所	1,173,065
	畜産関係	291	〃	578,468		市町村	4	〃	813,684	
	蚕糸関係		〃			小計	15	〃	1,986,749	
	園芸関係	944	〃	205,186		農 水 省 漁 港	県工事	5	〃	1,100,989
	その他	103	〃	201,631		市町村	1	〃	12,967	
	合計	1,594	〃	1,016,716		小計	6	〃	1,113,956	
漁 船 関 係 の 被 害	漁船	43	隻	26,608	被 害 の 被 害	合 計	979	〃	20,258,905	
	漁具		統			そ の 他	296	〃	467,568	
	施設その他	61	件	261,144		総 計	1,275	〃	20,726,473	
	合計	104		287,752						
鉱工業関係被害			件		学 校 関 係 の 被 害	高 等 学 校	60	校	54,301	
商 業 関 係 の 被 害	店 舗		棟			中 学 校	21	〃	5,681	
	その他施設	116	件	51,198		小 学 校	47	〃	44,999	
	商 品	16	件	3,460		そ の 他	13	〃	4,773	
	合計	132		54,658		合 計	141	〃	109,754	
林地(崩壊地)			30	箇所	そ の 他 の 公 共 施 設 被 害	205	箇所	410,032		
山 林 関 係 の 被 害	施 被 害 等	治山施設	26	〃	224,800	鉄 道 関 係 の 被 害	鉄 軌 道 関 係	230	件	—
		林 道	386	〃	959,673		線 路 工 作 物 関 係		〃	
		林産施設	13	〃	25,000		停 車 場 工 作 物 関 係		〃	
	林 産 物	5.63	ha	17,999	機 械 関 係			〃		
	合計	455	箇所	1,227,472	建 築 物 関 係			〃		
土 庫 関 係 の 被 害	国 土 工 交 通 事 務 省 市 町 村 工 事 管	河 川	381	箇所	6,729,178	被 害 の 被 害	電 気 通 信 関 係 被 害		回 線	
		県 砂 防	8	〃	369,686		電 力 関 係 被 害	12	戸	—
		道 路	113	〃	2,664,679		水 道 関 係 被 害		〃	
		急傾斜	1	〃	33,978		警 察 関 係 の 被 害	51	件	—
		橋りょう		〃			交 通 安 全 施 設 の 被 害	395	〃	—
		海 岸	2	〃	556,930		そ の 他 の 被 害		〃	
		その他		〃			崖 く ず れ	85	箇所	—
	小 計	505	〃	10,354,451	被 害 総 額	129,464		33,568,220		
	被 害 象 管	河 川	152	〃	1,429,647					
		道 路	291	〃	3,879,949					
		橋りょう	8	〃	1,487,318					
その他		2	〃	6,835						
小 計	453	〃	6,803,749							

鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



鹿児島県の注意報・警報細分区域



内容に関する説明

1. 雨の降り方の表現

- 1 時間雨量が 30 ミリ以上 50 ミリ未満の場合、「激しい雨」
- 1 時間雨量が 50 ミリ以上 80 ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」
- 1 時間雨量が 80 ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が 100 ミリ以上を「大雨」という。

2. 表中の数値の補足

網掛けしている数値は「資料不足値」を意味する。利用に関しては注意を要する。

3. 平年値について

1981年～2010年の平均値を使用している。

4. 観測値の極値は2020年までの値。

九州南部および奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	5月10日ごろ	6月29日ごろ
2014年	6月2日ごろ	7月16日ごろ	5月5日ごろ	7月4日ごろ
2015年	6月2日ごろ	7月14日ごろ	5月19日ごろ	7月6日ごろ
2016年	5月24日ごろ	7月18日ごろ	5月16日ごろ	6月18日ごろ
2017年	6月6日ごろ	7月13日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2018年	6月5日ごろ	7月9日ごろ	5月27日ごろ	6月26日ごろ
2019年	5月31日ごろ	7月24日ごろ	5月14日ごろ	7月13日ごろ
2020年	5月30日ごろ	7月28日ごろ	5月17日ごろ	7月20日ごろ
平年	5月31日ごろ	7月14日ごろ	5月11日ごろ	6月29日ごろ